

FOOD & STYLE

Arigatt

1万円の食事券を50名にプレゼント!

ひと・まち・食のスタイルマガジン
月刊「アリガット」 Vol.23 NOVEMBER 2003 / 660YEN

11

ピッツァ、クレープ、お好み焼き……
アツアツの粉モノ、大行進!



小山薫堂「モンダヴィさん、90歳の誕生日おめでとう!」
話題のイタリアン9店による、秋の新作パスタ・コレクション／美食の仕掛け人、中里隆「隆太窯」を訪ねて

「日本料理An」

ゲスト＝ポール・マルシャン（デザイナー）
×矢嶋裕子（本誌エグゼクティブプロデューサー）
写真＝黒田明彦

世界的魅力都市トウキョウ

フランスとは「ホットな」を意味するフランス語。各界からのゲストとともに、東京でいちばん話題の店を訪れる連載です。今回は、現在、日本を拠点に活躍するデザイナー、ポール・マルシャンさんを、話題の多い六本木ヒルズの「日本料理 An」に招待しました。

矢嶋 今回のゲストは、ファッショ

マルシャン プレタポルテは東京が初めてですが、デザインとしてはパリでスタートしているんですよ。ランジェリーですけれどね。

矢嶋 ランジェリー？

マルシャン ええ、男物の。7年前にランジェリー・コレクションを発表しているんです。

矢嶋 そうだったんですか！ 来

日して2年はとだそうですが、日本に来るきっかけは何でしたか？

マルシャン エスモードという、ファッションやデザインを教えている学校との契約です。

矢嶋 先生として？

マルシャン はい。以前からランジェリー以外の仕事をしてみたいと思っていたので、この話しがあったときは3日で断事をしました。

矢嶋 それまで日本に来たことはあったんですか？

マルシャン いいえ、一度も。知り合いもいないし、迎えるは通訳が一人空港にいただけ。でも、僕にと

っては全く新しい文化に触れるということでしたから、まるで冒険に行くようなワクワク感でした。

矢嶋 興味はありましたか？

マルシャン 東京は大きな都市で、世界中から注目されているという認識がありました。実際、今ではニューヨークよりおもしろいと思っていますし、ファッション界に携わる人々も、今いちばん魅力的な都市だと言っていますよ。

矢嶋 そうですか！

マルシャン 近代的な面と伝統的な面を併せ持っているところが、



「鰯のすし」スーパースライス、鮭のすし（愛知の海）。8000円コースのうちの1品。

矢嶋 ずいぶん、かたよった認識ね（笑）。

フレンチ形式の懐石料理

矢嶋 ここ「An」は日本料理の店で、サシミとスシもありますよ。

マルシャン カウンターが少し高くなっているおもしろいですね。

矢嶋 すしカウンターよ。目の前で板さんが握るすしを食べるの。

マルシャン 今はわかります（笑）。

矢嶋 和食は好きですか？

マルシャン 週に一度くらいですかね。忙しくて外食できないから、アトリエで作ります。洋食ですけれど、外食するときは和食を選びます。

矢嶋 この懐石料理は、お刺身が前菜だったり、デザートが3回も出てきたり、最後のお茶は、一緒にチーズやチョコプレートを食べ

るようになっていくんです。

マルシャン おもしろいですね。フランス料理のコースみたい。

矢嶋 まさにフレンチのコースをイメージしているんですって。経営しているワイズテンプルコーポレーションの店は、この六本木ヒルズだけでも3店舗あって、そのうち1店が「ショコラ・ドゥ・アッシュ」という行列のできるチョコプレート屋なんです。

マルシャン じゃあ、お茶と一緒に食べるチョコプレートはその？

矢嶋 そう。並ばなくても食べられますよ！

着せたいのは日本人

矢嶋 ところで、最新のお仕事は何ですか？

マルシャン 次のコレクションの準備に追われています。4月のコレクションが終わった後、すぐに始めましたテーマは「Navy」。

世界中の海軍の制服を基にしています。ちなみに今、着ているシャツは、サンブルなんです。

矢嶋 へえ海軍！ 何組ぐらい発表するんですか？

マルシャン 32組かな。ランジェリーも出そうかと思っていますよ。

矢嶋 でも日本の男性は、下着に興味がないような気が……。
マルシャン それでも僕は、日本



最後のお茶は、チーズまたはチョコレートと一緒に味わう。

ポール・マルシャン
1970年フランス生まれ。エスモードパリ校でデザイン、I.S.E.M.でファッションマネージメントとマーケティングを学ぶ。97年に初のメンズ・ランジェリーコレクションを発表。以降、世界各国のサロンに出版する。01年上海若手クリエイター国際コンクールのランジェリー部門で3位を獲得。02年からはエスモード・ジャパン(東京)でデザインの教鞭を執り、今年4月、メンズ・プレタポル子東京コレクションを発表した。
www.paul-marchand.com

にほんりょうり アン
TEL.03-5772-0067 / 東京都港区六本木6-10-1 ヒルサイドB2F / 営業:11時30分~14時30分、18時~23時、すし・バー18時~翌2時30分、日祝11時30分~15時30分、18時~23時 / 無休 / 予算:ランチ2800円、ディナー8000円 / 店舗デザイン:スピンオフ 塩見一郎 / 経堂:ワイズテーブルコーポレーション

国内向けにデザインをしていく
いと思ってるんです。

矢嶋 なぜ?

マルシャン 日本人の体型は、真
っ直ぐで、細くて、平らで、肩が
とつても大きい。「服を着せてみ
たい」と思うんですよ。

矢嶋 そう? ジャマツチヨは?

マルシャン ああ、大嫌いです。

矢嶋 (爆笑)

マルシャン でも、日本人で筋肉
が付いた人は、すごく美しいです
よ。体の変化が他国の人とは違
うんですよ。

矢嶋 ようするに、日本の男性が
気に入ったってことね。

マルシャン あと、日本のエスモ
ードの生徒から影響を受けたとい
うこともあります。

矢嶋 というところ。

マルシャン 皆、将来は自分のブ
ランドを持つとか、世界に進出し
ようという大きな夢を持っていま
す。僕は、夢を持つことなど忘れて
いたんです。すぐに東京コレクショ
ンの打ち合わせを始めましたよ。

矢嶋 大きな夢を持った若者って、
エネルギーがすごいですよね!

マルシャン 自分の知らない土地
でも、誰も知り合いがいなくても、
やろうと思えば実現するという
ことを生徒たちに見せたかった
んです。

矢嶋 見事に証明しましたよね。
そして新たなコレクションを控え
ている——シャンパンを注いでも
らいましょうか!

マルシャン カンバイ!

矢嶋 コレクションの成功に乾杯!